

## 第6回 倉吉市中心市街地活性化基本計画検討委員会会議

### 【 議 事 録 】

平成 27 年 3 月 23 日（月） 14：00～15：30

エキパル倉吉 多目的ホール

---

#### I. 倉吉市中心市街地活性化基本計画（素案）について

倉吉市中心市街地活性化基本計画（素案）に関して、事務局より、資料1、資料2、資料3および参考資料1について説明があった。

##### ①資料1（前回からの変更点）について

・目標2の事業の積算部分の「※新規事業」は不要ではないか。（山下委員長）

⇒ご指摘の通り。修正する。（事務局）

・目標3の目標数値の設定の文章、「平成25年度を基準とし」とあるが、平成21～25年の平均を取っているのので、同様の考え方である他の目標の記載と合わせた方が良いのではないか。（山下委員長）

⇒ご指摘の通り「平成21年度から平成25年度の平均件数を基準とし」と修正する。（事務局）

##### ②資料2（パブリックコメント）について

・パブリックコメントで頂いた意見で、参考としたものや検討の対象となったもの、今後の課題となりそうな意見はあったか。（山下委員長）

⇒基本的に今の計画に直接反映した意見はない。提案事業については、実際の事業実施者や議論する場が必要であり、今後の検討課題としている。（事務局）

・景観に関する意見があげられていない。大内宿のように観光を主眼においた大規模な景観整備をすることで観光客が100万人と劇的に増加する事例もある。計画内で景観について触れられているのか。（桑田委員）

⇒「目標2 歴史的・文化的資源を活かした回遊型観光のまち」のなかで伝建群の魅力向上について既に触れており、そのため、今回のパブリックコメントではご意見がなかったと考えている。（事務局）

・空き家等のストック活用は今回の計画の重要な部分。事業者が出てくるのを待っているだけでなく、事業を掘り起こすための説明会等、働きかけはどの程度考えているのか。（山

下委員長)

- ⇒具体的な需要があるものについては民間事業者に積極的に働きかけ、事業化を推進したい。中心市街地活性化協議会と連携をして事業を掘り起こしていきたいと考えている。(事務局)
- ⇒今回の事業はハード整備に関わる事業が多く、ソフト的な事業が少ない。実施段階で積極的に働きかけを行ってほしい。(山下委員長)

### ③資料3 (基本計画素案) について

- ・事業推進の際にポスターやグッズなど幅広いデザインの需要が出てくる。デザインセンターのような依頼を持ち込んでアイデアを展開できる場が必要なのでは。鳥取短期大学にもデザイン科を設置しているので、地域の知的資源として活用してもらえたら良い。(杉山委員)

⇒地域のアイデアを積極的に展開するのは重要。学内でのデザインセンターやベンチャーキャピタルのような小さなビジネスの展開など、事業主と協議会のマッチング等の体制を模索できればと思うので、是非アイデアを頂きたい。(事務局)

- ・防災の観点は非常に重要。基本計画に入れるべきではないか。(豊田委員)

⇒大事なご指摘と思う。基本計画の記載の中では、基本方針の1つとして、安全・安心で快適に暮らせる生活中心のまちづくりを挙げている。今後対策については検討し、計画に位置付けられるものは今後協議会と一緒に検討していきたい。(事務局)

- ・打吹山はウォーキングコースとしては非常に良いコースだが、カンファレンス(国際会議)以降も国内外の方に来て頂くためには、多言語対応のサイン計画等が必要になる。打吹公園整備事業の範囲が狭いので、長谷寺等を含む打吹山の広い範囲で検討してほしい。(山根委員代理)

⇒本計画の区域を打吹山にかけるのは国の許可の関係で難しいが、事業については今後検討していきたい。(事務局)

## II. その他について

- ・本日も検討頂いたものを以て市の基本計画とし、今後4月以降に内閣府へ認定申請を行う予定。結果等については、改めてお知らせさせて頂く。(事務局)